

木と建築で創造する共生社会実践研究会（A-WASS）部会活動の概要

部会名	運営責任者	活動の概要
木の建築部会	長澤 悟	<p>木の建築づくりの理論を学び、実践する。</p> <p>部会活動の一環として、建築家等が現場で実践的に木材利用に取り組めるよう、木の建築を実践する建築家による講義とともに事例研究や具体の課題に即した討論を行う研修会・ワークショップを開催する。また、設計者や木材関係者を対象に、木の建築に関わる各種法令・規制や木材に関わる基礎知識を習得するための研修会を開催する。</p>
木質バイオマス部会	花岡 崇一	<p>木質バイオマス利用の理論を学び、実践する。</p> <p>部会活動の一環として、遠野市木質バイオマス利用促進事業（林野庁委託事業）への応援協力（見学会・検討会への参加等）を実施するほか、地域の関係者が実践的に木質バイオマス利用に取り組めるよう、具体的な事例や実践的な課題に即した研修会・ワークショップを開催する。</p>
山里地域づくり部会	今泉 裕治	<p>埼玉県ときがわ町を主な舞台として、里山の森づくりとともに農山村での仕事や暮らしについて学び、実践する。</p> <p>部会活動の一環として、長年放置されたときがわ町有林（雑木林）の再生と木材の薪等としての循環利用に取り組むプロジェクト「循環と共生の森づくり in ときがわ」（国土緑化推進機構「緑の募金」助成事業）とともに、地元で息づく建具製造、きのこ栽培、林業、和紙製造などの生業と職人の技、その思い等を見て聞いて学び、ときがわ町の歴史・文化・生活史等と山村を取り巻く現状や将来展望を考えるためのワークショップなどを行う「とき森なりわい塾」を年3～4回開催する。</p>
総合戦略部会	二国 純生	<p>上記の各部会の成果を総合し、本研究会の目的である「自立的な循環型地域づくり」と「共生社会の理念の実現」のためのシステム・仕組みづくり（例えば、森林認証材の活用など木材利用における持続可能性の評価・確保手法等）とともに、社会に向けた発信（広報・普及）戦略を検討する。</p> <p>部会活動の一環として、以下のプロジェクトにも取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「A-WASS フロー」（市町村における公共建築の発注にかかわる伐採から建築に至るプロセスの体系化）</li> <li>○「木はいいんだ」（建築等に地域材を活用する意義・効果の体系的整理）</li> </ul>

（平成 28 年 8 月 20 日現在）